

おりもの感謝祭一宮七夕まつり「第1回企画委員会」

日時 平成28年12月16日
午後1時30分～午後4時
場所 一宮市役所9階902会議室

はじめに

あいさつ・議事進行

・・・おりもの感謝祭一宮七夕まつり協進会事務局長 経済振興課岡本課長

以下、●：事務局、▲：委員 の発言

議題1 第61回おりもの感謝祭一宮七夕まつりを振りかえって

(七夕記録動画により概要視聴)

●61回の七夕まつりの人出は122万人と、記念の年であった昨年の131万人を下回るものの平年より多い人出。最終日に一時天気が崩れた以外は天候に恵まれ、各イベントを予定通り実施することができた。

61回のメイン企画であるTANABATAダンスイベントについては、7月1日にEXPGインストラクターを招きダンススクール、7月23日に七夕まつりでのダンスコンテストエキシビションに向けた「Rising Sun」練習会を実施。7月18日にダンスコンテスト予選を行い42チーム217名が、7月30日に決勝を行い15チーム62名が参加した。また、7月31日に決勝進出者とコンテスト出場者の内希望者が、EXILE ÜSA、EXILE TETSUYAの前で、「Rising Sun」を披露した。ダンスイベントに関しては、情報の訂正等直前まで詳細をお知らせすることができず、ご迷惑をおかけしました。

iビル7階シビックホールにて28日、29日は観光協会主催でいちのみや物産展、30日、31日には体験イベントや剣舞・羽衣舞を実施。動線としてあまり人が流れてこないため、協進会としてもうちわ・ティッシュの配布やミスチャリティサイン会を行い集客力向上に工夫を凝らしたが、七夕まつりの賑わいを考えると物足りず、62回への反省事項である。

7月29日、30日に地元若者による実行委員会が、“七夕BON!OH~DO~REMIX”を銀座通り盆踊り会場にて開催した。若い世代の集客はあったが、従来の盆踊りを期待していた方や、民踊に慣れ親しんだ方からはご意見があり、62回では実施場所や時間の調整が必要。

今年開設したオリナス一宮に隣接する葵公園にて、会期前日の27日から31日まで“葵にぎわい広場”が開催され、多くの人でにぎわった。

30日と31日に、愛知淑徳大学の学生によりモーニング試食と機織り体験が実施された。ゼミ生が毎年変わるため、企画も毎回変わる。

企画委員会で出た提案を実現したイベントとして、観光協会と国際交流協会の共催で“七夕グローバル商店街”を開催し、世界各国にちなんだブースを展開。市役所西側に新しく整備された夢織り広場に、七夕まつり会場の面的広がりを持たせた。また、国際交流協会設立 25 周年を記念し、本町商店街でグローバルパレードも実施した。

- ▲翌朝清掃に新たに参加するボランティアからの声で、ルール違反で側溝に廃棄する露店の掃除までしなければならないことへの不満があった。露店の場所を集約するなど検討できないか。
- ▲夢織り広場で開催のグローバル商店街は、よくできたと思う。広場の活用については、トップダウンで特例が考えられないか。
- ▲駅東のキラキラコンサートは従来に比べてレベルアップしたと感じた。出演内容と組合せの精査が必要。
- ▲オリナス一宮と葵公園南側のつむぎロードでは、福祉バザーや顔出しアートが行われたが、会場としてよい場所である。公共的役割を持つ方への出展場所として位置づけられないか。
- ▲夢織り広場、i-ビルは人が回遊してこないことが問題。どういう形にしているか検討すべき。
- ▲メインになるイベントを協進会が作り、そのほかの団体は手を貸して参加している状態。各参加団体が核になっていくとよい。
- ▲i-ビル 3 階シビックテラスで行われたダンスコンテストは、多くのチームが集まり盛り上がりよかった。i-ビルへ人を呼込むのが難しいが、テラスの活用について検討していきたい。
- ▲今回のコスプレパレードは、蒲郡市のラグーナテンボスのコスプレイベントと重なり心配したが、前年比減となったもののそれなりに人は集まった。夏のコスプレイベントとして、定着してきたと感じている。
- i-ビルでの各階への動線については、1 階コンコースでの設置物や呼び込み等、JR と調整して工夫をしたい。
- i-ビルテラスや七夕 BON!OH~DO~REMIX の音の問題については、こういった形であれば実施できるのかを検討していきたい。

議題 2 第 62 回おりもの感謝祭一宮七夕まつりについて

- 反省点・改善点、委員提案について説明。
 - 第 62 回新規事業（案）について事務局より説明。
- ▲夢織り広場への動線確保は苦勞していたが、人を呼込むブースがあっても、やっていることを知られていなかったようである。夢織り広場はコストパフォーマンスの高いところなので、事前の広報を充実したい。

- ダンスコンテストは初の試みであったので、市内のダンススクールに協力を仰ぎ、ノウハウを教えていただいた。審査員に有名な人を呼んだが、開催告知が遅かったこともあり、参加希望者から開催日には別の予定が入ってしまったとの声があった。また、時間だけでなく周知力不足が課題であった。
- 継続することが大事と考えるので、62 回もダンスコンテストを実施予定。
- ▲一宮駅から真清田神社まで色々な会場があるが、ここは“食”、こちらは“踊”といったように会場各地をゾーニングし、i-ビルにもテーマを設定し、人が回遊する仕組みを作ってはどうか。現状は各地にステージが散在している。
- ▲61 回パンフレットの会場案内図を見ると、回遊を拒否しているように見える。長年一宮市に住んでいても場所がわかりづらい。
- ▲駅東ステージでは 62 回の演出をイベンターに委託したが、その結果きらきらコンサートの出演者が地元の人で固められ、いいものになった。
- ▲以前提案したが、イベント時間や会場、トイレやゴミ箱の場所等を表示できるスマホアプリを大学生が作成しており、一宮七夕まつりでも取り入れてはどうか。

議題3 第 62 回おりもの感謝祭一宮七夕まつりテーマ等について

- 61 回ではテーマやテーマカラーをもとに、ポスターやパンフレット、うちわ等に統一感を持たせ、PR 効果を高めることができたと考えている。62 回も同様に統一感のあるデザインで進めたい。

○テーマカラーについて

- テーマカラーについては、61 回の開催にあたり「赤」と決めた。七夕まつりのイメージカラーとして、「赤」をテーマカラーとして継続していきたい。
- ▲何年か継続してダンスとともに打ち出し、定着させることが効果的であると思う。

○テーマについて

- ・テーマ案より、次年度の方針等を踏まえ、出席委員において提案されたテーマ案の中から 4 点を候補として選定。その後、企画委員全員に提示し、多数決とすることを決めた。